

平成29年6月発行

こんにちは^^ 不定期発行のこちらの通信、勝手に書いて、勝手に配り、お目汚しいつも失礼しております…。が、おかげさまで祝20号です！ありがとうございます！！ということでは今月は開山忌（かいさん忌）を紙面倍増で紹介いたしますね～。いつも以上に住職にご指導いただきました。まだまだ勉強中の寺嫁です（*・*）

～開山忌特集！！～



◎ 開山忌とは？

開山忌とは、皆様がお務めくださるご先祖様の法事（年忌法要）です。一周忌、3回忌…とありますが、それを毎年行っていると思っていただくとわかりやすいかと^^

そんな東光寺の開山忌では二人の和尚様のお位牌を用意します。



それが開山忌のお知らせにも書いてあります通り、東光寺の最初の和尚様の温仲（おんちゅう）和尚様とお釈迦様から直接続いている和尚様の洪堂（こうどう）和尚様です。

◎ 開山忌のお供え物



一番上の写真を見ていただくと、お膳や果物、お菓子、お花、といったいつもの法事でお供えするものがあります。これ、ご回向（お経の後にお唱えするものです。）に出てくるんですよ！「コウゲトウシヨクサカチンシュウを供え…」って。こちら、漢字に直すと結構わかる！

コウゲ→香華、トウシヨク→灯燭、サカ→茶菓、チンシュウ→珍饈（羞）

このように、お線香などの香り、お花、ろうそくの灯り、お茶、お菓子、美味しいお食事（お膳）、下嚙（あしん：お布施のこと）をお供えします。

開山忌ではこのお供え物を一つ一つ、丁寧にお香の香りで薫じてからお供えしていきます！

出来る限りのことを精一杯する、そんな心をお供えしていきます。

◎ 開山忌で見られない貴重なもの

それが右の写真のお袈裟と法衣と掛け軸です。

どっちがお袈裟でどっちが法衣なの～？と頭の中が？マークになるのは私だけでしょうか…(;▽;)

ちなみに向かって左が法衣、右がお袈裟です。お軸に描かれているのは109年前に亡くなられた法系開山洪堂和尚様の頂相(ちんそう:禅僧の肖像画のこと)です。



さて、法衣やお袈裟というのは、師匠から弟子へお釈迦様の教えが受け継がれたという証。

これらを拝見すると、今まで教えを伝えてくださったことに感謝し、この先も自分の役目を一生懸命果たしていこうと思わせてくれるかもしれません。各ご家庭での年忌法要でも同じことが感じられるのではないかと思います。そういうところも一緒ですね。

◎ おわりに…

『開山忌特集』なんてタイトルをつけた割には十分な紹介ができなかったのですが、少しでもご理解を深めていただければありがたいと思います。

開山忌はご参列いただき易いように毎年6月の最終日曜日に行っております。ぜひ足をお運びいただければ幸いです。



お知らせ1

例年、6月上旬頃に菩提樹の花が満開を迎えます。小さく可憐な花で非常に良い香りがします。どうぞご覧ください！



お知らせ2

7月、8月のお盆には各ご家庭のお仏壇の前でお経をあげさせていただきます(棚経)。日時については、昨年とほぼ同様の予定です。ご一緒に手を合わせていただきますよう、よろしくお願い致します。

*この『まめご通信』はお寺のことをもっと知ってほしいという想いで始めました。ご家族皆さまで読んでいただけると嬉しいです◎

